



Reduce Risk,
Increase Efficiency.
Be Sustainable.™

法人・公共機関向けデータ消去ソリューションのご案内

ライフサイクルが終了した情報機器やデータを安全に、そして世界各国の法規制に準拠しながら効率的な消去を実現

Blanccoについて

Blanccoの高い管理性・拡張性をもたらすソフトウェアベースのソリューションにより、ライフサイクルが終了したデータを安全に、そして世界各国の法規制に準拠しながら、効率的に消去できます。

世界中で使われているデータ消去ソフトウェア

Blanccoは1997年にフィンランドで設立されたエンタープライズ向けデータ消去専門のソフトウェアベンダーであり、設立以来、一貫してデータ消去ソリューションを世界中で提供しています。専門であることから、社内にはデータ消去専門の研究開発体制があり、多様化するITプラットフォームやセキュリティに対するニーズに応えています。

法人や公共機関での利用に特化

法人や公共機関などの大規模かつ多様なIT環境のデータ消去に対応しており、組織内で実施するデータ消去業務を効率化することができます。また、Blanccoの製品は世界中の政府機関や第三者機関から、安全性に関する認定を数多く取得しており、製品としての品質が保証されているのが大きな強みです。



1日当たり7万台*のIT機器がBlanccoによって消去されています

※PC/モバイルなど各種デバイスの合計

Blancco Technology Group 会社概要

会社名	Blancco Technology Group PLC
設立	1997年6月21日
本社所在地	10801 N. Mopac Expressway Bldg. 1, Suite 350 Austin, TX
事業内容	データ消去およびモバイルデバイス診断ソフトウェアの開発、データのライフサイクル管理のための製品開発やソリューションの提供
Dunn&Bradstreet	D.U.N.S number: 65-189-9627, 企業格付け最高位のAAAカテゴリー認定

株式会社ブランコ・ジャパン 会社概要

会社名	株式会社ブランコ・ジャパン(英文社名: Blancco Japan Inc.)
設立	2010年4月1日
本社所在地	〒107-0062 東京都港区南青山2-23-8 外苑ビル5階
資本金	1,000万円
TEL	03-5772-7491
事業内容	日本国内・韓国におけるIT機器のデータ消去およびモバイルデバイス診断ソフトウェアの販売、ならびに付随サービスの提供

Blanccoが取得している認証・評価



Blanccoで安全かつ効率的にデータを消去



セキュリティ

最新のデータ消去により
ライフサイクルが終了した
データを保護



コンプライアンス

監査対応可能なレポートで
世界各国の法規制に準拠



業務効率化

高い拡張性と容易な統合により
業務効率化を実現



サステナビリティ

IT資産の再利用の推進により
サステナビリティに貢献

Blanccoが世界各国で取得している製品認定

世界中の13以上の管理団体や主要組織によって検証され、認定/承認/推奨を取得
政府機関、法務機関、独立した検証機関が定める厳格な要件に対応



コモンクライテリア認証 (ISO15408)

コモンクライテリアは、欧州、オーストラリア、アジア、および北米の31か国の政府が参加する国際的なセキュリティ認証です。Blancco Drive Eraser 6.9.1、Blancco Drive Eraser 7.3.1、およびBlancco File Eraser 8.2はすべてCommon Criteria認証を受けています。

その他の製品認定についてWebサイトをご覧ください
www.blancco.com/ja/about-us/our-certifications/



ADISA - 英/米
(資産廃棄と情報セキュリティアライアンス)



テュフ・ザールラント - ドイツ



Algemene Inlichtingen-
en Veiligheidsdienst
オランダ国家通信セキュリティ機関



ANSI - フランス
(全国情報処理システム・セキュリティ庁)



NYCE - メキシコ
(メキシコのソフトウェア開発基準)



NATOカタログへの登録



Bundesamt
für Sicherheit in der
Informationstechnik

BSI - ドイツ
(ドイツ連邦情報技術安全局)



スウェーデン軍



一般社団法人 日本ITAD協会

Blanccoの消去方式

国内外で多く採用されているNIST(米国国立標準技術研究所)
や後継であるIEEE(米国電気電子学会)など
25種以上の消去方式を実装

Blancco SSD Erasure (特許番号9286231)

NIST 800-88 Clear

NIST 800-88 Purge

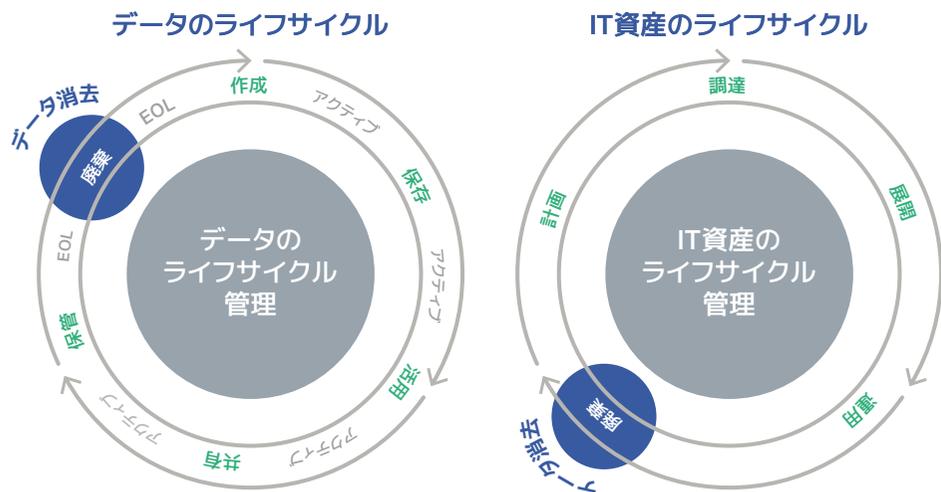
IEEE 2883-2022 Clear

IEEE 2883-2022 Purge

その他の消去方式についてはWebサイトをご覧ください
www.blancco.com/ja/about-us/supported-standards/

データ量の増加とデータ漏えいリスク

データの利活用が活発になる現代、法人や公共機関のITインフラは機密情報を含む大量のデータを保持しています。そのため、内部不正やサイバー攻撃による漏えいリスクが以前よりも高くなっており、これらのデータやデータを保持したドライブをライフサイクル終了時に適切に処理および管理しなければなりません。



ライフサイクルの終了時にデータを復元できないように消去し、適切に消去が実施されことを記録・管理する必要があります。

データ量の急激な増加がもたらすこと

- ① さらに広がる脅威/攻撃対象領域
- ① 漏えいの拡大とコンプライアンスのリスクの増大
- ① 法規制のさらなる強化と厳罰化
- ① ストレージコストの増大
- ① 業務効率の低下
- ① 環境へのさらなるダメージ

世界のデータ量は2026年までに221ZB(ゼタバイト)に達する

IDCワールドワイド「世界のデータスフィアとストレージスフィアの構造化/非構造化データの予測、2022-2026年」(2022年)



日本国内でも大きな問題となった内部不正による情報漏えい

IPA「情報セキュリティ10大脅威2024」(組織向け)で3位となっている「内部不正による情報漏えい」ですが、その対策としてデータやIT資産の運用ポリシーの徹底とデータ消去の運用への組み込みが推奨されています。

リース返却後のドライブを転売

自治体 2019年12月

自治体で運用されていたサーバのリース返却後、物理破壊予定だったドライブを委託事業者の社員が持ち出し、オークションサイトで転売した。

顧客情報を保持したHDDの紛失

サービス業 2022年1月

過去に顧客情報を保持していたHDDを事務所移転時に紛失。HDD内のデータは消去済みという情報もあったが、過去に消去が実施されたという記録が確認できなかった。

個人情報を保持したUSBメモリの紛失

自治体 2022年6月

自治体の業務委託先の社員が、個人情報の入ったUSBメモリを鞆に入れてそのまま持ち出し知人と会食して、鞆ごと紛失。後日、鞆とUSBメモリは発見されたが、委託先は損害賠償請求された。

サイバー攻撃による個人情報漏えい

BPOサービス事業者 2024年8月

自治体から業務を委託を受けていたBPOサービス事業者がサイバー攻撃を受け、流出した大量の個人情報が闇サイトに掲載。その後の調査により、委託時の契約にあった業務利用後のファイル消去が実施されていないことが判明。

ECサイトの顧客情報の漏えい

メーカー 2024年6月

メーカーのECサイトの運営の委託先社員が業務に個人所有の外付けHDDを利用。データを消去せずにHDDを廃棄したため、当該HDDを入手した第三者からの通報により発覚。

法人や公共機関においてデータ消去の実施が必要となるケース

業務で取り扱うデータ量の増加、IT資産のポートフォリオの複雑化、高まる情報漏えいリスクとコンプライアンス違反に対する厳罰化などにより、法人や公共機関においてデータ消去の実施が必要となるケースは多様化しています。



デバイスのライフサイクル終了時の一般的な処理方法とその問題点



リース会社にすべて任せているので
問題ありません

問題点

- ① 外部委託事業者による不正リスク
- ① 保管中、移動中の盗難・紛失のリスク
- ① 法規制・ガイドラインに準拠できない
- ① 消去ソフトウェアのコスト
- ① オンサイト作業のコスト
- ① 消去レポートの改ざんリスク
- ① 消去の実績管理の工数増



Blancoなら

すべて自拠点内で消去できるので
安心して外部に運び出すことができます

- ✓ リース物件でも運び出す前に、自拠点内で消去
- ✓ 法規制・ガイドラインに準拠
- ✓ 消去を徹底して内部不正のリスクを低減
- ✓ 保管・輸送コスト/オンサイト消去の person 費の削減
- ✓ 管理工数の削減



物理的に破壊したり、産業廃棄物として
処理しているので問題ありません

問題点

- ① 保管中の盗難・紛失リスク(内蔵ドライブ単体での保管によるさらなるリスク)
- ① SSDに対応した破壊方法(装置)の選択
- ① 物理破壊のコスト
- ① オンサイト作業のコスト
- ① 重量(kg)での管理による紛失リスク
- ① レポート(画像)の信頼性の担保
- ① 電子ごみ増による環境への負荷の増大



Blancoなら

利用終了時/保管前にすぐに消去できれば
安心して保管や運び出しができます

- ✓ 消去を徹底して内部不正のリスクを低減
- ✓ 保管・輸送コストの削減
- ✓ 最新のフラッシュドライブにも対応した消去
- ✓ 管理と処理工数の大幅な削減
- ✓ リサイクル推進により環境に配慮



すべて暗号化しているので
漏えいの心配はありません

問題点

- ① 「適切な暗号」が使われているか?
- ① 暗号化鍵の管理は適切か?
- ① 鍵の消去を確認できるか?
- ① 運用開始時から暗号化が行われているか?
- ① クラウドでテンプレートからそのままインスタンスを作っていないか? (同一暗号化鍵)



Blancoなら

ドライブの全領域を消去できるので
暗号化に関係なく安全性を確保できます

- ✓ 自己暗号化ドライブにも対応した消去で安全性を確保
- ✓ 複合化キーの紛失/漏えいへの備え
- ✓ 管理工数の削減

大規模な組織での消去の運用を効率化するBlanccoのソリューション

	Blancco Drive Eraser	他社の消去製品の一例	Blancco利用のポイント
ソフトウェアの起動方法・提供形態	DVD、USB起動、MSIパッケージ、PXE(ネットワークブート)を併用可	USB起動が一般的	多様な起動方法で柔軟な運用を実現
消去時に取得できる情報	ハードウェアの詳細情報/その他MSIの場合ユーザードメイン名など	PC/ディスクのモデル名とシリアル番号	詳細なインベントリ情報を自動収集、資産管理を効率化
カスタマイズ	ネットワーク設定や消去方式など専用設定ISOを作成	消去時の設定のみ	お客様の環境に合わせた専用設定と運用の統一
利用できる消去方式	25種類の消去方式に対応(NIST、IEEE含む)	独自の消去方式など5種	国内外で標準とされている最新の消去方式を実装
SSDの消去 - フリーズロック対応	適切な消去コマンド実行と隠し領域の消去	不明	NIST Purgeレベルの消去にはロック解除が必須
RAIDの自動解除	接続された各ドライブを認識	専用製品	並列処理による消去時間の短縮
ベリファイ(消去実施後の検証ステップ)	事前にデータを書き込み消去後に照合	選択規格により実施	消去の成功・失敗を検証するステップを実装
消去レポートと消去結果の証跡管理	PDF + XML形式、RSA方式の改ざん防止と管理コンソール(クラウド)	テキストファイルのみ	電子署名付きの消去レポートと専用の管理コンソール
マルチ言語対応(日本語以外での表示や操作案内)	日本語、英語含む14言語、世界21オフィス	日本語のみ	カスタマーサポートもマルチ言語対応

Blanccoが環境に配慮した取り組みをサポート

Blanccoのソリューションが持続可能なデータ消去とデバイス廃棄、IT資産の循環的利用など環境に配慮した取り組みをサポートします。



デバイスの安全な再利用

動作可能なデバイスからデータを復元できないように消去し、デバイスの利用期間を延長します。これにより、デバイスの安全な再配置、再利用、リソース返却が可能になります。



IT資産の循環的利用の促進

デバイスからデータを復元できないように消去することで、デバイスの安全な寄付、さらに、再販価値を高めることでリユース市場への安全な流通を推進します。



エネルギーの削減

情報漏えいリスクだけでなく、保管に要するストレージのコスト負担の原因でもあるROTデータやダークデータを削減することで、安全性の確保やコスト削減と同時に運用に必要なエネルギーを削減できます。



電気電子機器廃棄物の削減

安全なデータ消去によりデバイスのリサイクルを推進することで、開発途上国に輸出・廃棄されている電気電子機器廃棄物(e-waste)を削減できます。



カーボンニュートラルを達成

Blanccoは社内業務の一環として、また循環型経済の支援として、持続可能性を重視しており、FY2021にカーボンニュートラルを達成することができました。今後もこれら環境に配慮した健全な取り組みをBlanccoとして推進するだけでなく、お客様の環境への取り組みも支援させていただきます。

Blancco のデータ消去製品

パソコンやサーバから、モバイル・クラウドまで、さまざまなIT資産の消去とその管理に対応し安全かつ効率的な廃棄・再利用をサポート

Blancco Drive Eraser

PC、サーバ、ストレージのデータ消去
HDDや自己暗号化ドライブから
SSDやNVMeの消去に対応

Blancco Mobile Diagnostics & Erasure

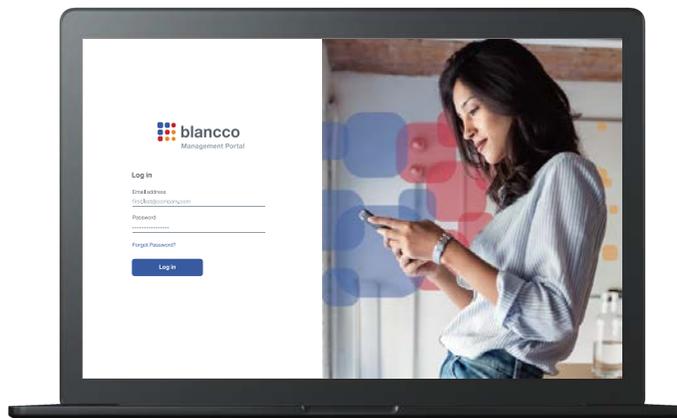
スマートフォンやタブレットなど
モバイルデバイスのデータ消去と診断

Blancco Drive Verifier

PCや取り外したドライブの
データ消去を検証

Blancco Removable Media Eraser

スマートフォン、タブレット、ネットワークルーター、
デジタルカメラなどで使用する
リムーバブルフラッシュメディアのデータ消去



Blancco Management Portal

IT資産ポートフォリオ全体のデータ消去とレポートを
オンプレミスもしくはクラウドで一元管理

Blancco LUN Eraser

稼働中のストレージ環境における
LUN(論理ユニット)のデータ消去

Blancco Virtual Machine Eraser

仮想化基盤上の仮想マシンを構成する
特定のファイルやフォルダのデータ消去

Blancco Hardware Solutions

データセンターなど大規模なIT施設における
取り外したドライブやドライブエンクロージャの
データ消去

Blancco File Eraser

稼働中のPCやサーバー上の
特定のファイルやフォルダの消去

監査証跡となる消去レポート

- 使用した消去方式や実施した消去日時をはじめ、ハードウェアやソフトウェアの詳細情報を記録
- 権限ベースの一元管理により、内部および外部の監査やレビューを簡素化
- 電子署名による改ざん防止により「証拠保管の継続性」を保持した安全かつ検証済みの文書を実現



ESG ダッシュボード

- サステナビリティ・ダッシュボードとESG(環境、社会、ガバナンス)計算ツールが、CSRの目標達成をサポート
- 消去済みデバイスのボリューム、重さ、削減したCO2排出量を記録

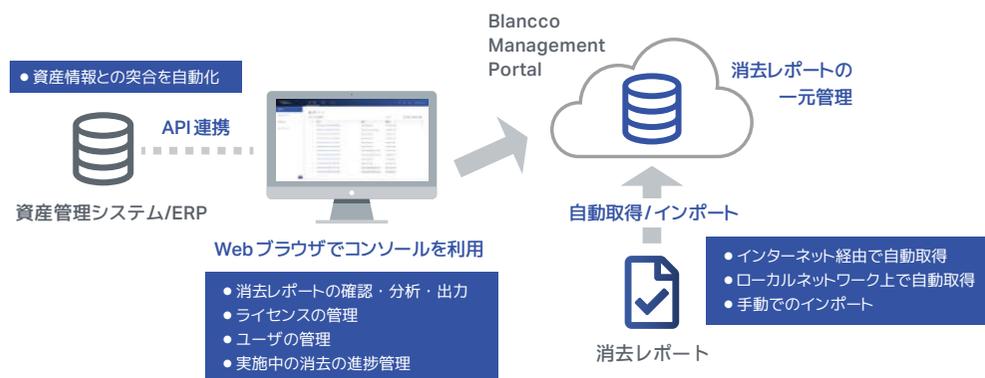
Blancco Management Portal

Blancco Management Portalは、Blanccoのデータ消去ソフトウェアが消去後に出力する消去レポートを一元管理するための管理コンソールです。ソフトウェアのライセンスやユーザの管理をはじめ、実施中の消去の進捗管理、実施した消去履歴の確認や分析を行うことができ、管理業務や監査対応を効率化するさまざまな機能を提供しています。Blancco Corporate Bundleでデータ消去ソフトウェアを導入いただければ、クラウドベースのBlancco Management Portalが無償でご利用になれます。

Blancco Management Portalの主な機能

-  **Blanccoのすべての製品に対応**
Blanccoが提供しているすべてのデータ消去ソフトウェアが発行する消去レポートを管理、分析することができます。
-  **Webブラウザからレポートを参照**
クラウドで提供されており、Webブラウザから管理・分析作業が可能です。オンプレミスのサーバ、ローカルのPCへのインストールも可能です。
-  **データ連携のためのAPIを提供**
WebベースのAPIが提供されており、消去レポートの項目を資産管理システムやERP、その他データベースと容易にデータ連携することができます。
-  **消去レポートの電子署名を判定**
Blanccoのデータ消去ソフトウェアが発行する消去レポートに付与されている電子署名の判定機能を搭載。消去レポートの改ざんを防ぐことができます。
-  **消去レポートの出力**
自動取得、もしくはインポートした消去レポートは、必要に応じて、PDF、CSV、XMLなどのフォーマットで出力することができます。
-  **ライセンス/ユーザ管理機能**
保有している消去ソフトウェアのライセンスを一元管理します。さらに、ユーザの管理機能を備えており、権限の定義や割当などできます。Active DirectoryやLDAPの認証連携の仕組みが利用可能です。
-  **サステナビリティ**
消去済みデバイスのボリューム、重さ、削減したCO2排出量を記録します。サステナビリティ・ダッシュボードとESG(環境、社会、ガバナンス)計算ツールが、CSRの目標達成をサポートします。

Blancco Management Portalの基本的な利用イメージ



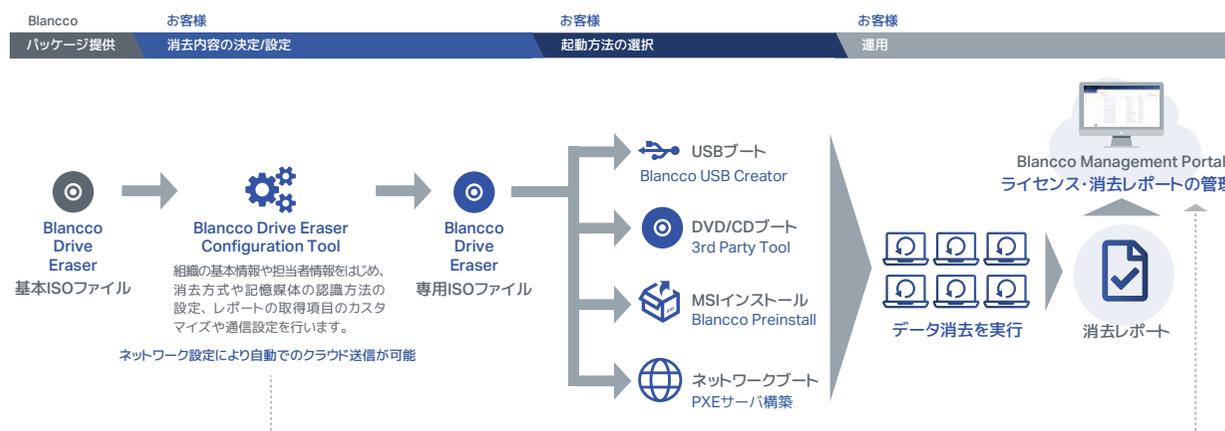
Blancco Drive Eraser

Blancco Drive EraserはPCやサーバ、ストレージのドライブに対して、記憶媒体の全領域に渡り上書き処理を実施することで、削除や初期化では消せないデータを復元できない状態にするデータ消去ソフトウェアです。データ消去後には適切に消去が実施されたかどうか自動的に検証を行い、詳細なインベントリ情報を記録した消去レポートを発行できます。HDDや自己暗号化ドライブから、SSDやNVMeに至るまで、さまざまなドライブの消去に対応しており、NIST (米国国立標準技術研究所) Purge/Clear や IEEE (米国電気電子学会) などを含む 25 種類の消去方式の利用が可能です。

Blancco Drive Eraser の主な機能

- | | | | |
|--|--|--|--|
|  <p>大規模な環境でのデータ消去に対応
PC、サーバ・ストレージを大量に保有する組織において、効率的な消去の運用と管理が可能です。</p> |  <p>消去レポートの発行
ハードウェアとソフトウェアの詳細なインベントリ情報を自動的に取得、データ消去終了後に、消去レポートに記録することができます。
※改ざん防止の電子署名付き</p> |  <p>RAID構成を解除して消去
RAID構成を自動的に解除またはパススルー。すべてのドライブを物理的に認識して同時並列で消去を実施。消去時間の大幅な短縮と安全性の確保が可能です。
※手動での解除が必要な場合があります</p> |  <p>ストレージのデータ消去に対応
Fiber ChannelやSCSIで接続された大規模なストレージのデータ消去に対応しており、ホストサーバ経由の効率的なデータ消去が可能です。
※HBAが対応している場合</p> |
|  <p>フラッシュベースのドライブに対応
SSDやNVMeなどフラッシュベースのドライブを搭載した環境において、HDDと同等のセキュリティレベルを確保したデータ消去が可能です。</p> |  <p>組織の要件に合わせた柔軟な運用
多様なソフトウェア展開オプション、ネットワーク設定や消去方式のカスタマイズにより、組織ごとの個別の要件に柔軟に対応します。</p> |  <p>包括的なデータ保護ソリューション
管理コンソールと組み合わせ合わせて利用することで、消去の実施から分析・管理、監査対応までを効率化する包括的なソリューションとなります。</p> | |

Blancco Drive Eraser 導入から運用までの流れ



ユーザによる手作業を最小限に

データ消去の準備と実行、消去レポートの作成と提出を自動化できます。

- PCに配信されたMSIファイルをリモートから実行することができます
- 消去終了後に、必要な情報を自動取得して消去レポートを発行します
- 各PCの消去のステータスを、管理部門から一元的に把握することができます
- 消去レポートは、Blancco Management Portalに自動送信されます

ユーザ自身の手作業に依存

一般的なソフトウェアによるデータ消去の場合、ソフトウェアを起動するため、DVD/CD-ROMからの起動、シリアル入力などの作業を、ユーザ自身で行う必要があります。消去レポートについても、レポートの作成と提出をユーザ自身が手作業で実施する必要がある場合があります。

Blancco Drive Eraser のユースケース

ドライブのライフサイクルにもとづく情報漏えい対策

スタンドアロン環境でのデータ消去

USBブートで手軽に実施

Blancco Drive EraserはUSBから起動して消去を実施することができます。そのため、スタンドアロン環境にあるPCに対して、手軽にデータ消去を実施することができます。消去レポートはソフトウェアの起動に使ったUSBメモリに保存されます。



RAID構成のサーバの効率的な消去: 同時並列消去

複数のドライブを同時並列で消去することで作業時間を大幅に短縮

Blancco Drive EraserはRAID構成のサーバ環境において、接続された複数のドライブを個別のドライブとして認識することができ、同時並列で消去を実行可能です。これにより、作業時間の大幅な短縮、さらには、個別のドライブに対する消去レポートの発行により、高い安全性を確保できます。



- ① 膨大な消去時間: 物理的なドライブではなく、論理ドライブとして認識されるため、容量が大きくなり消去に時間を要する
- ① どのドライブを消去したか追跡できない: 物理的なドライブとして認識できないため、個別のドライブのシリアル番号を取得できない
- ① NIST Purgeレベルの消去ができない: 論理ドライブとしての消去のため

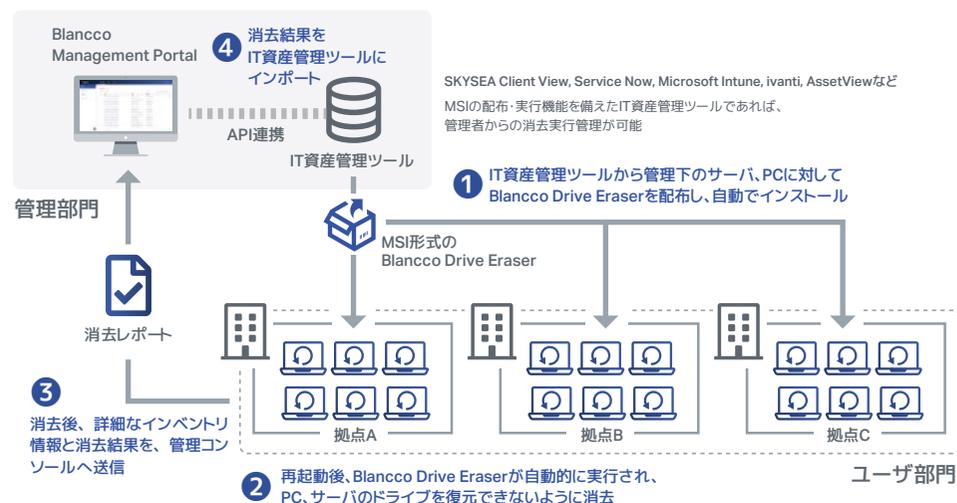
- ① 消去時間の短縮: RAID構成を自動解除またはパススルーそれぞれのドライブを個別に認識し、同時並列で消去可能
- ① ドライブごとの消去記録/NIST Purgeレベルの達成: 物理的なドライブとして認識できるため、個別のドライブのシリアル番号の取得、そして隠し領域の消去やファームウェアベースの消去が可能

※一部のRAIDコントローラーでは手動での解除が必要な場合があります

多拠点でのデータ消去を管理部門からリモートで実施

IT資産管理ツールとの連携により、遠隔地の消去プロセスを自動化

Blancco Drive EraserはMSIファイルからインストールして消去を実施できます。そのため、IT資産管理ツールやソフトウェア配信ツール、その他Active Directoryを利用したネットワーク経由でのソフトウェアの配布を行うことができ、国内外の拠点のPCに対して、本社の管理部門からリモートで消去を実施することができます。



Blancco Drive Eraser が消去レポートに記録できる項目の例

- 組織名
- 消去担当者
- 消去実施日時
- 消去方式
- 消去時間
- 上書き回数
- 消去結果
- ユーザ名
- Macアドレス
- 電子署名
- ハードウェア情報 (ベンダー、型番、モデル、シリアル番号、CPU、メモリ、ストレージアダプタ、NICアダプタ、グラフィックカードなど)
- 消去対象となったすべてのドライブの情報 (ベンダー、型番、シリアル番号、サイズ、Busなど)

Blancco File Eraser

日常の業務のなかで多くの機密情報を含むデータがPCやサーバのドライブに蓄積されますが、使用が終了したものを必要以上に保持することは情報漏えいリスクを高める原因のひとつとなります。Blancco File Eraserは稼働中のPCやサーバのドライブ上の特定のファイルやフォルダに対して上書き処理を行い、復元できない状態にするデータ消去ソフトウェアです。ドライブ全体ではなく特定のファイルやフォルダをピンポイントで消去のターゲットにできるため、稼働環境におけるデータセキュリティを強化することができ、事故による流出、故意による持ち出しのリスクを抑えることができます。

Blancco File Eraserによるファイル消去の導入を検討すべき状況

- 漏えいした場合に、経営的なインパクトが大きいデータを多く取り扱っている
- データの削除を社内ルールとしているが、徹底できていない
- NASやファイルサーバ上に、機密情報を含むデータを保存している
- 定期的にデータが増えるため、手作業による削除では追いつかない
- 法規制や業界のセキュリティ基準の要件を満たす必要がある

Blancco File Eraserによるファイルやフォルダの消去



デスクトップ上のファイルやフォルダの消去

デスクトップ上の特定のファイルやフォルダに対して、上書き処理によるデータ消去を実行し、復元できない状態にすることができます。



NASやサーバ上のファイルやフォルダの消去

NASや共有サーバ上のファイルやフォルダ、ディスクの空き領域に対して、上書き処理によるデータ消去を実行し、復元できない状態にすることができます。



ディスクの空き領域 / 一時ファイル / ごみ箱の内容を消去

ディスクの空き領域、一時ファイル、ごみ箱の内容に対して、上書き処理によるデータ消去を実行し、復元できない状態にすることができます。



通常の「ファイル削除」や「ごみ箱を空にする」だけでは、データを消去できません

ファイル削除やごみ箱を空にするだけでは、データの記録はディスクの空き領域に物理的に残されたままとなっており、復元することが可能です。

組織や企業での利用に最適な機能 - 自動化/スケジュール化/ポリシー化

Blancco File Eraserはユーザによるオペレーションだけでなく、ユーザ・イベントやクライアント環境のグループポリシーによるルール化や消去ルーチンの自動化が可能です。また、ネットワーク経由でのソフトウェアの一括配布とサイレントインストールやポリシーの一括適用など、大規模なIT環境を持つ企業や組織において、管理業務の効率化が可能です。



イベントをトリガーにした自動化

例えば、ログアウトや何らかのファイル操作など、ユーザ・イベントをトリガーにして、データ消去を自動的に実行することができます。



Active Directoryによるポリシー適用

Active Directoryによるポリシー制御を利用することで、管理者が事前に定めたファイルやフォルダの消去のポリシーを、すべてのユーザに適用することができます。



オペレーションの制御

消去のオペレーションを、管理者が事前に定めることができます。例えば、ユーザにオペレーションを任せられることも、何らかの条件による自動処理の設定が可能です。



ポリシーベースの自動化

ファイルの最終更新日時、種類、パス、あるいは、特定の曜日や時間などを条件にして、データ消去を自動的に実行することができます。



MSIファイルでの一括展開

MSIファイルからインストールすることができるため、大規模なIT環境を持つ組織で利用する場合、ソフトウェア配信ツール、資産管理ツール、Active Directoryなどを利用して、ソフトウェアを展開することができます。

Blanco File Eraser のユースケース

ファイルのライフサイクルにもとづく情報漏えい対策

建設業において工事施工記録写真の流出を防ぐ

ユースケース 01

ある建設会社では工事施工記録写真をPCに大量に保存していますが、Blanco File Eraserによって画像ファイルのみを週に1度、自動で消去するというルーチンを実装しています。このルーチンはActive Directoryのポリシー制御により、すべてのユーザに一括適用しました。消去したファイルごとに発行される消去レポートはBlanco Management Portalで一元管理しています。



製造業において機密データのユーザによる消去忘れを防ぐ

ユースケース 02

ある製造メーカーではPC上で取り扱うプロダクトの設計や製造から販売に関する情報を含む様々なファイルの定期的な消去をルール化していますが、ユーザの手作業による消去忘れを防ぎルールを徹底するために「ごみ箱の内容」を定期的に消去する自動ルーチンを、Blanco File Eraserによって実装しました。消去後に発行される消去レポートは、Blanco Management Portalで一元管理しています。



小売業においてサーバ上のPOSデータを処分する

ユースケース 03

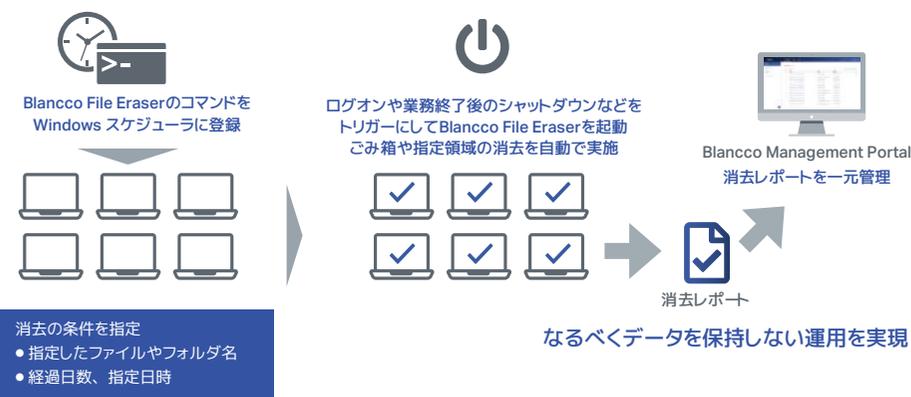
ある小売業の会社ではPOSデータを基幹システムとデータ連携させるために、中継サーバ上でバッチ処理を行っていますが、サーバのドライブ上には処理が終了したPOSデータが蓄積されてしまうことから、Blanco File Eraserにより、これらデータを定期的に消去するルーチンを実装しました。



従業員・職員のITリテラシーに依存しない運用を実現

ユースケース 04

PCからのデータ漏えいを防ぐためには、不要なデータを保持しない運用が必要です。しかし、実際の運用を職員や従業員の手作業に任せてしまうと、個人のITリテラシーやモラルに依存することになり、ルールやポリシーを徹底できません。Blanco File Eraserは何らかの条件をトリガーとして設定することで、それぞれのPC上で自動的な消去を実施することができます。これにより、個人のITリテラシーやモラルに依存しない消去の運用が可能です。



Blanco Mobile Diagnostics & Erasure (BMDE)

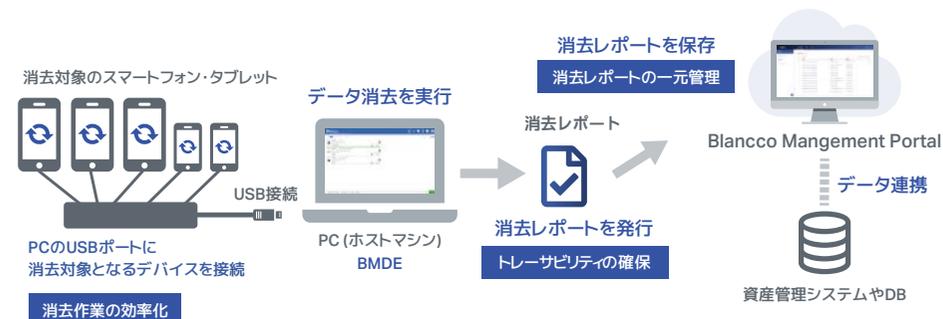
iOS / iPadOS / Androidなどを搭載したモバイルデバイスに対応

Blanco Mobile Diagnostics & Erasureはスマートフォン・タブレットの診断と消去のソリューションです。デバイスのユーザ変更・譲渡・再利用・再販・廃棄時に内蔵メモリに残されたデータを復元できないように消去します。消去のモニタリング、複数デバイスの同時消去や消去レポートの発行など、消去から消去後の管理までのプロセスを効率化する多くの機能を提供しています。さらに、最大60種以上の検査項目を提供する診断機能により、検査工程の効率化をはじめ、検査精度やサービスの付加価値向上をサポートしています。

スマートフォン・タブレットのデータ消去

消去からレポート発行・管理/分析までのシームレスなフローを実現

スマートフォンやタブレットのユーザ変更・譲渡・廃棄時に、内蔵メモリに残されたデータを消去し、情報漏えい対策を強化します。消去のモニタリング、複数デバイスの同時消去や消去レポート発行など、データ消去から消去後の管理までのプロセスを効率化する多くの機能が実装されています。



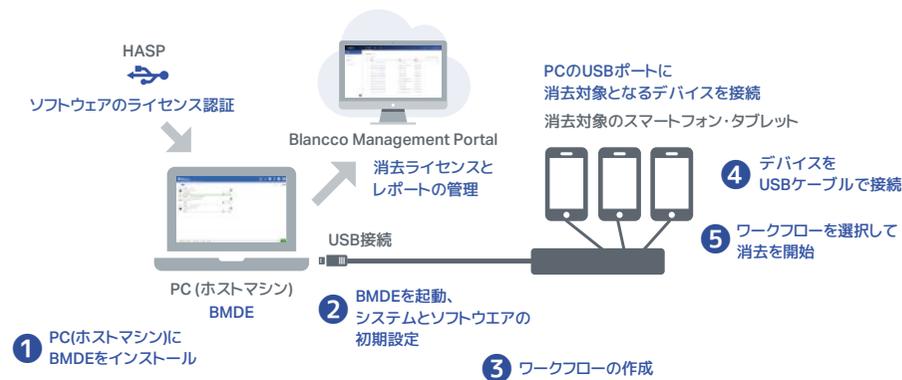
レポートに記載される主要項目

- 商品名(例:iPhone 11)
- 内部モデル(例:MWLX2)
- 領域(例:J/A) ※iPhoneのみ
- A-モデル番号(例:A2221) ※iPhoneのみ
- ファームウェアバージョン(例:14.7.1)
- 容量(例:64GB)
- IMEI(例:353997102367059)
- シリアル番号(例:F4GZC3K4N739)
- バッテリーヘルスレベル(例:100%)
- 色(例:Purple) ※iPhoneのみ
- 検査情報
- 利用制限(赤ロムチェック) ※キャリア契約チェック機能を設定することで確認可能
- SIMロックの状態 ※ワークフローのキャリアチェックで確認可能(要Prologライセンス)
- バッテリーサービス表示 ※BMDEバージョン4.13で対応予定

全世界で最も信頼と実績のあるモバイルデータ消去

- ✓ 非周期ランダム、暗号化消去(Crypto Erase)、DoD 5520.22Mなど13の消去方式から選択可能
- ✓ すべてのデータセクタへの上書きとベリファイ
- ✓ 改ざん防止の消去レポート
- ✓ 診断や消去の実行順序を自由にカスタマイズ
- ✓ 赤ロムやFMiP(iPhoneを探す)ロック、SIMロックのチェックをワークフローに組み込み可能
- ✓ 外観確認など、作業者への質問をワークフローに組み込み可能
- ✓ IMEI/バーコードの他、各種情報をラベル印刷可能
- ✓ REST APIを使い商品管理システムなどの外部サーバーと連携
- ✓ ワークフローおよびレポートをBlanco Management Portalで一元管理

導入・設定から運用までの流れ



Blanco のカスタマーサポート

Blancoのカスタマーサポートは顧客サービスにおける卓越性を最優先にしています。カスタマーサポートのミッションは、緊急の課題やリクエストに応えるだけでなく、将来の課題を回避する予防措置を講じられるよう、シームレスかつ顧客中心のエクスペリエンスを提供することです。サポートチームはHDI認定を取得したエンジニアで構成されており、PCやサーバから、クラウド、モバイルデバイス、ファイルやフォルダなど、お客様のあらゆる環境のデータ消去の問題解決をサポートします。



サポートプラン

	エンタープライズ (SPE)	プレミアム (SP1)	アドバンスド (SP2)
製品アップグレード	✓	✓	✓
オンラインセルフサポート	✓	✓	✓
ポータルサポート	✓	✓	✓
Eメールサポート	✓	✓	✓
電話サポート	✓	✓	✓
リモートセッションサポート	✓	✓	
連絡先の上限人数	無制限	10	5
年次のリモートヘルスチェック (応相談)	✓	✓	
年次のオンサイトヘルスチェック (応相談)	✓		
テクニカルアカウントマネージャー	✓		
24時間年中無休の電話サポート窓口	✓		
深刻度 3～4	2時間	4時間	6時間
深刻度 2	1時間	2時間	4時間
深刻度 1	30分	1時間	2時間

※現地営業時間午前10時～午後5時 (SPEを除く)

新潟県

260以上の拠点に配置した約6,000台のPCをオンサイトで消去
 LGWAN環境下に展開した管理コンソールで消去の進捗を可視化
 総務省のガイドラインに準拠したオペレーションを実現

導入製品 / ソリューション

- ① Blancco Drive Eraser
- ① Blancco Management Console (現 Blancco Management Portal)

Blanccoは、データ消去の進捗がきちんと確認できる点が非常に良かったと思いました。本庁に設置したコンソールから日々の消去の進捗をリアルタイムに確認できたので安心して見守ることができました

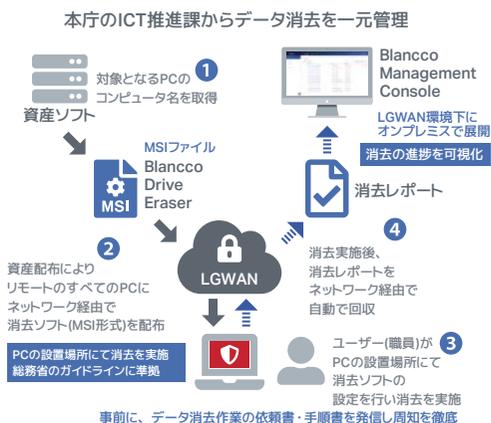
荒川 和也 氏
 新潟県

知事政策局 ICT推進課 行政デジタル化推進班
 システム調整担当 主事

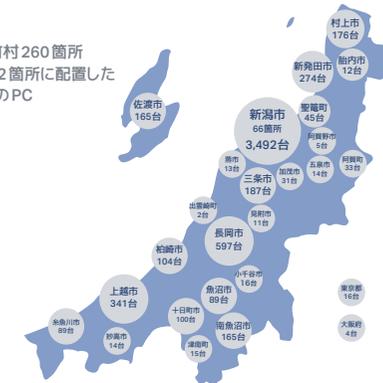
Blanccoが実現していること

- ✔ 総務省が策定した「地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」に準拠したオペレーション
- ✔ 県内24市町村260箇所および県外2箇所に配置した約6,000台のPCの約95%をネットワーク経由で効率的に消去
- ✔ Blancco Drive Eraserを資産管理ソフトからネットワーク経由ですべてのPCに一括配信
- ✔ 安全なLGSWAN環境下に展開したBlancco Management Consoleで消去の進捗を可視化、同時に消去レポートの収集を自動化
- ✔ スタッフが各拠点を訪問して行う従来のオンサイト消去と比べて、約50%のコスト削減を達成

デジタル改革を推進する新潟県は、Blanccoのソリューションを活用し、県内24市町村260箇所および県外2箇所に配置するリース契約期間満了を迎えた約6,000台のPCのデータ消去と消去レポートの収集をネットワーク経由で実施。総務省のガイドラインで義務付けられた設置場所でのオンサイト消去を実現すると同時に、ネットワーク経由の処理により、従来と比べて大幅な業務効率化と約50%のコスト削減に成功。



県内24市町村260箇所
 および県外2箇所に配置した
 約6,000台のPC



さくらインターネット株式会社

日本各地に広がる複数のデータセンター拠点での データ消去の画一化と集約管理

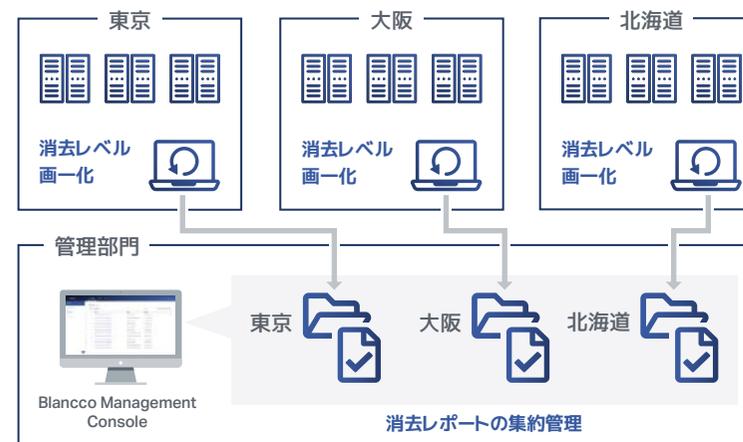
導入製品 / ソリューション

- ① Blancco Drive Eraser
- ① Blancco Management Console (現 Blancco Management Portal)

Blanccoが実現していること

- ✔ 複数拠点における 消去の統合管理
- ✔ 各種セキュリティ認証に対する確証性の高い証拠とその管理
- ✔ ライセンス管理の一元化

各データセンター拠点における資産廃棄の際のデータ消去ツールとして、Blancco Drive Eraserを導入することで、各拠点の消去プロセスおよび消去を一元的に統合管理することができるようになり、管理工数が大幅に削減されました。各拠点の消去レポートは、最終的に本部に設置された管理コンソール (Blancco Management Console) に集約され、一元的に管理されています。Blancco Drive Eraserでのデータ消去では、消去完了後に電子署名が割り振られた消去レポートが出力され、各種セキュリティ認証の監査証拠としても、より一層の評価を得ることができます。また、消去ライセンスについても管理コンソールで集約管理されており、ライセンス違反の発生を制御しています。



お客様情報

お客様名 : さくらインターネット株式会社
所在地 : 〒530-0011 大阪府大阪市北区大深町 6-38 グラングリーン大阪 北館 JAM BASE 3F
Web サイト : <https://www.sakura.ad.jp>

さくらインターネットは、ホスティングサーバーを中心としたデータセンター事業やクラウド事業およびインターネットへの接続サービスなどのITインフラをお客様へ提供するサービスプロバイダーです。データセンター事業では、東京(東新宿・西新宿・代官山)・大阪・北海道に拠点を構え、日本最大規模の容量を有しています。ISMS、ISMSクラウドセキュリティ認証およびプライバシーマークなど、各種セキュリティ認証を取得し、24時間365日の運用体制でお客様の重要なデータを堅守しています。

導入について - Blancco Corporate Bundle

デジタル化や働き方の多様化によりさまざまなデバイスの導入が進む中、デバイスの廃棄とデータ保護はますます重要な課題となっています。Blanccoはこれらの課題に対処できるよう、消去ライセンスに管理コンソールとカスタマーサポートを組み合わせたBlancco Corporate Bundleでの導入をおすすめしています。

Blancco Corporate Bundleのベネフィット



最新の製品を利用

ライセンス購入後も製品は継続的にアップグレードされるため、常に最新の製品と消去テクノロジーがご利用になれます。



あらゆるIT資産に利用可能

Blancco Corporate Bundleで購入いただくライセンスは、PCやサーバに限らず、お客様が保有するIT資産の消去にご利用になれます。



廃棄を組み込んだ運用計画

ライセンスは最終購入日から10年間有効のため、運用開始時に事前に将来のデバイス廃棄を運用計画に組み込むことができます。



多様なニーズに柔軟に対応

機器故障による代替、短期のレンタル品の返却など突発的に発生する廃棄処理などにご利用になれます。



管理コンソールとサポート

消去レポートや製品ライセンスを管理するコンソールとカスタマーサポートがセットになった包括的なソリューションです。

それぞれのBundleの特徴



Essential Bundle

最もシンプルなBundleです。PCやサーバ、取り外したドライブ、ストレージ、モバイルなど組織が管理・運用する基本的なIT資産の消去とレポートの管理に対応しています。



Power Bundle

Essential Bundleの内容に合わせて、さらに、ファイルやフォルダ、LUNや仮想マシンなど稼働環境の消去製品を含むBundleです。既存の資産管理システムとのAPI連携やソフトウェアの幅広い展開オプションにより、大規模な廃棄において高い効率性を実現します。



Enterprise Bundle

大規模なIT環境を運用・管理する組織向けのBundleです。Power Bundleまでのすべての内容に合わせて、より高度なAPI連携、さらに幅広いソフトウェア展開オプションにより、大規模な廃棄において高い効率性を実現します。

Blancco Corporate Bundle 比較表

	ESSENTIALS	POWER	ENTERPRISE
IT資産のライフサイクル対応データ消去*			
ノートパソコン&デスクトップ(MacおよびPC)	✓	✓	✓
モバイル/タブレット(OS/Androidデバイス)	✓	✓	✓
リムーバブルメディア	✓	✓	✓
サーバ、ストレージ、ドライブ単体	✓	✓	✓
情報のライフサイクル対応データ消去			
ファイル、フォルダ、パーティション、LUN、仮想マシン		✓	✓
起動オプション			
オンラインUSBブート- インターネット接続が必要	✓	✓	✓
ネットワークブート- 複数のシステムを同時に管理	✓	✓	✓
オフラインUSBブート- インターネット接続不要		✓	✓
ネットワーク経由のリモート管理消去 (MSIプリインストール、エージェント)		✓	✓
プラットフォームとの連携			
ITSM/ITAMソリューションとのAPI連携		スタンダード	アドバンス(例: ServiceNow***)
クラウドホスティングによるデータ管理とワークフローの自動化			
レポートの集中管理	✓	✓	✓
レポートのカスタムビュー	✓	✓	✓
ナレッジ・ベースへのアクセス	✓	✓	✓
改ざん防止データ消去証明書発行	✓	✓	✓
カスタマイズ可能なISOイメージによる、データ消去プロセスのカスタマイズ	✓	✓	✓
サステナビリティ・ダッシュボード		✓	✓
高度なカスタマイズ可能ワークフロー機能 (IBR)		✓	✓
各種ダッシュボード			✓
オンプレミス版管理コンソールの提供		アドオン	1ライセンス込み (追加はオプション)
テクニカルサポート&プロフェッショナルサービス			
製品実装と設定作業支援		リモート(4時間)	オンサイト(1日)
Blancco Management Portalのユーザートレーニング		リモート(1時間)	リモート(2時間)
システム連携と製品運用支援		リモート(4時間)	オンサイト(1日)
HDI認定テクニカルサポートへのアクセスレベル	SP2	SP1	SPE
テクニカル・アカウント・マネージャー			アドオン

* 対象範囲に含まれる資産に応じて、Blancco Drive Eraser、Blancco Mobile Diagnostic & Erasure、Blancco Erasure for Apple Devices、Blancco File Eraser、Blancco Removable Media Eraser、Blancco Virtual Machine Eraser、Blancco LUN Eraserソフトウェアを提供します。

** オンプレミスのBlancco管理コンソールは、アドオンとして利用可能です。

*** ServiceNowストアでBlancco Secure Data Erasure Appを購入する必要があります。

† Blancco 作業記述書 (SOW) 必須



Reduce Risk.
Increase Efficiency.
Be Sustainable.™

株式会社ブランコ・ジャパン

〒107-0062 東京都港区南青山2-23-8 外苑ビル5階

www.blancco.com/ja/

© Blanco Technology Group. All rights reserved.

A4WIDE-BOOK-BLANCCO-CORP-REV01:25MAR-D02